

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

石川県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
能登町立小木小学校	能登町教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
能登町立小木小学校	https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/さっと(里)海へいこう！

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
能登町立小木小学校	https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/さっと(里)海へいこう！	https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/さっと(里)海へいこう！

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている

・ 一部、計画通り実施できていない

・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している

・ 実施していない

<特記事項>

- ・学校だより、里海通信や学級だより、研究発表会等を通して、保護者に対して趣旨説明や成果報告を行った。
- ・保護者や地域に対して、有線放送で授業の様子等を発信した。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

地域の特色を生かした特別の教育課程の編成は、海と人との共生を学び、海についての理解や関心を深めることをはじめ、郷土に誇りと愛情を持った児童を育成するために実施している。

(効果) 小木の町が好きである。 98.0%

小木の町や海を大切にしようと思う。 100%

- ・地域や海に愛情を持ち、大切にしたいという気持ちをもった児童が育っている。

(課題) 里海学習で 小木の町や海について 新しく知ることができましたか。 89.0%

- ・町のことや海のことについて、新しく知ることによって課題がある。新しい発見が児童の好奇心につながると考えるので、新たな教育活動を工夫していく必要がある。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

小木小学校の里海科の教育目標は、海洋教育のさまざまな活動を通して、海に対する豊かな感受性を培い、海に対する関心を高めるとともに、海洋と人間の関係および海を通して人々との結びつきについて理解することで、持続可能な社会の形成者としての資質、能力、態度を養うことであり、関係法規の小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切である。

本校の目指す児童「意欲をもって自ら学び、地道に努力し、自分の考えを高めようとする子」に向けて、里海学習は、自分のためになると考えており、話し合いや発表、学習のまとめを楽しんでいる。

(効果) 里海学習は、自分のためになりましたか。 93.0%

里海学習で、話し合ったり、発表したり、学習をまとめたりする活動は楽しい。
83.0%

(課題) 学習したことを発信することに苦手意識を持っている。学びをまとめ、表現できる児童の育成をめざし、「学んだことを発信したい!」と思えるしかけづくりを行う必要がある。

4. 課題の改善のための取組の方向性

体験活動を重視し、コミュニケーションの場を適切に設定することにより、海に対する関心を高める。また、発信活動を通して海と人との関係や人々との結びつきについての理解を深める。